

発言者



木田好子氏 (音楽プロデューサー)
きだ よしこ / 相愛大学ピアノ科卒、'95年音楽事務所設立。「朝の光のクラシック(04年〜)」「中之島国際音楽祭(06年〜)」等を開催。大阪国際会議場音楽顧問。



奥野武俊氏 (大阪府立大学学長)
おくの たけとし / 大阪府立大学大学院修士課程修了、同大学工学部教授を経て'96年学長。大学コンソーシアム大阪常任理事・産学連携部会長を兼任。

関西・大阪 文化力会議



定藤繁樹氏 (関西学院大学副学長)
さだとう しげき / 元京都リサーチパーク部長、関西学院大学商学部教授を経て現職。大学と地域連携による都市再生等に取り組む。現在は社会連携を担当。



江 弘毅氏
(株)140B取締役編集責任者・ナカノシマ大学主宰
こう ひろき / '89年京阪神エルマガジン社で「ミーツ・リージョナル」誌を創刊・同編集長。'06年(株)140Bを設立、「月刊島民」「ナカノシマ大学」を主宰。

まちで何を学び、
都市における文化創造の場づくりを考える
いかに人を育てるのか



金水 敏氏
(大阪大学大学院教授)
きんすい さとし / 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター長。専門は国語学・言語学。主著『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』他



小原啓渡氏 (大阪市立芸術創造館館長)
こはら けいと / 文化支援ファンドの設立や造船所跡地をアートスペースに再生するなど、芸術環境の整備に関わる活動を続ける。'06年より現職。

文化とは学術・芸術・技術の3術であり、それを支えるのは人であると言われる通り、人こそ財産であり、人を大事にする大阪でありたいと思っている。第1分科会では、まちが人を育てる学びの場になるためには何をどう推進すればよいのか、知的ネットワークをどう構築するのかという観点で、実際に現場で活動されている方々の事例をご紹介しますとともに、学びの場としてのまちの可能性について議論したい——
議長 / 堀井良殷



平松邦夫氏 (大阪市長)
ひらまつくにお / '71年毎日放送入社。「MBSナウ」のキャスターを18年間務めた後、北米支局長、役員室長等を経て'07年退社。同年大阪市長に当選。

議長

堀井良殷 大阪21世紀協会理事長
ほりい よしたね / 東京大学卒業、'58年NHK入局。大阪放送局長、NHK理事を経て現職。大阪文化祭選考委員会会長。主著「なにわ大阪興亡記〜だから元気を出さない〜」他。

